

檜葉町駐在現地確認概要(平成29年11月13日～11月17日)

確認日	確認目的	確認箇所	確認状況	プラント関連 パラメータ
11月13日	増設焼却設備建屋の建設状況の確認	5、6号機北側大規模造成エリア最西端(増設焼却設備設置箇所)	○増設焼却設備建屋の建設工事の状況を確認した。 現場確認時、基礎工事が行われており、大型クレーンやコンクリートポンプ車などの重機が稼働していた。 前回確認時より作業が進んでいることを確認した。	12時11分現在
	1号機原子炉建屋カバー防風フェンス等の設置状況の確認	1号機原子炉建屋北側1、2号機開閉所	○1号機原子炉建屋カバーの防風フェンス等の設置状況について確認した。 建屋北側には防風フェンス7枚すべてが設置されていた。西側には防風フェンス3枚とガレキが残置されているオペフロ南側へアクセスするための作業床が設置されていた。 計画どおり、作業が進んでいることを確認した。	
	3号機燃料取扱機(FHM)の設置状況の確認	3号機原子炉建屋前高台3号機原子炉建屋西側ヤード	○11月12日に3号機オペフロに設置された燃料取扱機(FHM)の状況を確認した。 燃料取扱機(FHM)は、全体がビニールで養生され、設置されていた。 計画どおり、作業が進んでいることを確認した。	
11月14日	ガレキ一時保管エリアPの状況確認	ガレキ一時保管エリアP	○ガレキ一時保管エリアP1及びP2の現況について、現場確認した。 P1エリアの中央部から西側には、難燃物、ゴム類、雨水受入タンク側板などと書かれた金属製のコンテナが1～4段積みで保管されていた。またエリア北側には、比較的線量が高く、廃棄物の品目が記載されていない金属製のコンテナが4段積みで保管されていた。 P2エリアには、入口付近に「高線量物置場」と書かれた看板があり、ゴム類、タイヤックなどと手書きされた金属製のコンテナが数基保管されていた。また、エリア北側にはシートで覆われた廃棄物が保管されていた。 現場で目視した限り、廃棄物が飛散・流出等している様子は確認されなかった。	11時33分現在
	伐採木一時保管エリアI	伐採木一時保管エリアI	○伐採木一時保管エリアIの現況について、現場確認した。 当該エリアには、伐採木等の廃棄物が保管されておらず、雑草が生い茂っていた。東京電力の資料のとおり、すべて発電所構内の他のエリアに搬出されたものと推察された。	
11月15日	PCV内部調査で採取されたサンプルの線量測定状況の確認	排水処理設備建屋	○1～3号機PCV内部調査により採取されたサンプルの発電所構外輸送前の線量測定が行われたことから、その状況を確認した。 サンプル4検体が収納されたペール管各々のスミヤ法による表面汚染密度の測定及びNaIシンチレーションサーベイメータを用いた表面線量率の測定が行われた。汚染がないことを確認した後にペール缶に放射性輸送物の表示を行い、ビニールで養生後、東京電力の社用車に積み込まれ、施錠管理された。 規定どおり、線量管理が行われたことを確認した。	11時17分現在
11月16日	PCV内部調査で採取されたサンプルの輸送前の状況確認	排水処理設備建屋	○1～3号機PCV内部調査により採取されたサンプルを発電所構外への輸送が行われたことから、輸送前の状況を確認した。 サンプルは、木箱に収納され、運搬車両の荷台に積載され、空間線量率の測定が行われた。その後、運搬車両の荷台は、落下防止用のシートで覆われ、放射性輸送物を積載している旨を示す表示が取り付けられた。東京電力の担当者によると、先導車及び運転手のサーベイ等を行ったのち、構外に輸送するとのことであった。 計画どおり、輸送に向けた準備作業が行われたことを確認した。	10時22分現在
11月17日	ガレキ一時保管エリアU等の状況確認	ガレキ一時保管エリアU大型機器点検建屋前	○ガレキ一時保管エリアU等の現況について、現場確認した。 当該エリアには、廃棄物が保管されている様子はなく、新たなタンクエリアとしてコンクリートの基礎工事が行われていた。当該エリアにもともと保管されていた廃棄物は、すべて五差路付近の大型機器点検建屋前の一角に移動されており、シートで養生された上、ネットがかけられ保管されていた。 現場で目視した限り、ガレキ一時保管エリアUの移動先エリアで廃棄物が飛散・流出等している様子は確認されなかった。	11時44分現在

※プラント状況については、プラント関連パラメータをご参照ください。